



2025年12月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年7月30日

上場会社名 太洋テクノレックス株式会社
コード番号 6663 URL <https://www.taiyo-tx.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細江 正大
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 園部 直孝
半期報告書提出予定日 2025年7月31日
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 073-431-6311

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年12月21日～2025年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	1,607	8.7	57		59		65	
2024年12月期中間期	1,760	0.1	34		35		26	

(注) 包括利益 2025年12月期中間期 69百万円 (%) 2024年12月期中間期 21百万円 (%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	10.90	
2024年12月期中間期	4.39	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	4,840	2,444	49.9
2024年12月期	4,543	2,531	55.0

(参考) 自己資本 2025年12月期中間期 2,416百万円 2024年12月期 2,499百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期		0.00		3.00	3.00
2025年12月期		0.00			
2025年12月期(予想)				6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年12月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 3円00銭 記念配当 3円00銭
詳細は、2025年7月29日発表の「期末配当予想の修正(創立65周年及び上場20周年記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年12月期の連結業績予想(2024年12月21日～2025年12月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	4,471	27.1	61		55		31	5.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 以外の会計方針の変更：無
 会計上の見積りの変更：無
 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期中間期	5,992,400 株	2024年12月期	5,992,400 株
期末自己株式数	2025年12月期中間期	6,227 株	2024年12月期	6,227 株
期中平均株式数(中間期)	2025年12月期中間期	5,986,173 株	2024年12月期中間期	5,962,540 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済状況は、雇用・所得環境の改善を背景として先行きに期待感はあるものの、物価の継続的な上昇が個人消費に与える影響や、米国の通商政策による高関税措置の影響への懸念が残り、依然として先行きが不透明な状況となりました。

当社グループが属する電子基板業界は、産業機器及び自動車市場向けにおいては在庫調整が長期化するなど需要の停滞が見られたものの、生成A I 関連の需要拡大を背景にデータセンター向けは堅調に推移しており、コロナ禍の特需に起因する在庫調整後の需要動向は二極化する状況となっております。

このような経済環境の下、電子基板事業、産機システム事業及び鏡面研磨機事業において販売は増加したものの、テストシステム事業において販売が減少したことから、売上高は減少いたしました。

これらの結果、連結売上高は1,607百万円（前年同期比8.7%減）と、前年同期に比べ153百万円の減収となりました。

損益については、電子基板事業において売上総利益率が上昇したことに伴う影響はあったものの、テストシステム事業において売上高が減少したことに伴う影響により営業損失57百万円（前年同期は34百万円の営業損失）、経常損失59百万円（同35百万円の経常損失）、希望退職者の募集に伴い発生する費用額の補填及び政策保有株式の縮減を目的とした売却による投資有価証券売却益を特別利益に計上したことに加え、同募集に伴い発生する割増加算金等の費用として早期割増退職金を特別損失に計上したことにより親会社株主に帰属する中間純損失65百万円（同26百万円の親会社株主に帰属する中間純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(電子基板事業)

医療機器メーカー向け及びディスプレイメーカー向けのF P Cの販売は減少したものの、カメラメーカー等のセットメーカー向けのF P Cの販売が増加したことから売上高は増加いたしました。損益については、自己都合退職による労務費等の減少及び社内製造品の売上高増加による売上総利益率の上昇に伴う影響により増益となりました。

その結果、売上高1,159百万円（前年同期比0.5%増）、セグメント利益213百万円（同30.2%増）となりました。

(テストシステム事業)

検査治具等の販売は増加したものの、パッケージ基板向け及びセラミックス基板向けの外観検査機並びにF P C向けの通電検査機の販売が減少したことから、売上高は減少いたしました。損益については、売上高減少に伴う影響により損失となりました。

その結果、売上高139百万円（前年同期比60.2%減）、セグメント損失70百万円（前年同期は31百万円のセグメント利益）となりました。

(鏡面研磨機事業)

リチウムイオン電池用フィルム加工向け及びグラビア印刷機向けの研磨機の販売が増加したことから売上高は増加いたしました。損益については、売上高増加及び研磨機の利益率改善に伴う影響により増益となりました。

その結果、売上高216百万円（前年同期比12.5%増）、セグメント利益32百万円（同98.7%増）となりました。

(産機システム事業)

大型の工業用処理槽及び金属外観検査装置の販売ができたことにより、売上高は増加いたしました。損益については、売上高増加に伴う影響により損失が縮小いたしました。

その結果、売上高92百万円（前年同期比41.3%増）、セグメント損失1百万円（前年同期は19百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ372百万円増加し、2,911百万円となりました。これは主として、有価証券の償還により減少した一方、現金及び預金並びに売上債権が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ75百万円減少し、1,929百万円となりました。これは主として、有形固定資産の減価償却及び投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券の売却により減少したものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ364百万円増加し、1,215百万円となりました。これは主として、短期借入金、夏季の賞与及び早期割増退職金の計上に伴い流動負債のその他に含まれる未払費用が増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ19百万円増加し、1,180百万円となりました。これは主として、長期未払金及び退職給付に係る負債が減少した一方、長期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ87百万円減少し、2,444百万円となりました。これは主として、利益剰余金が減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動により獲得した資金が117百万円、投資活動により獲得した資金が149百万円、財務活動により獲得した資金が210百万円となり、その結果、資金は前連結会計年度末に比べ472百万円増加し、当中間連結会計期間末には1,045百万円(前年同期比11.9%増)となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、117百万円(前年同期は257百万円の獲得)となりました。これは主として、税金等調整前中間純損失59百万円及び投資有価証券売却益44百万円により資金が減少した一方、減価償却費61百万円及び早期割増退職金44百万円等により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、149百万円(前年同期は34百万円の使用)となりました。これは主として、有価証券の償還による収入100百万円及び投資有価証券の売却による収入77百万円により資金が増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、210百万円(前年同期は221百万円の獲得)となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出164百万円により資金が減少した一方、長期借入れによる収入250百万円及び短期借入金の純増加額180百万円により資金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の通期連結業績予想については、売上高計画の達成見込み状況等が現時点では不透明であることを考慮した上で、2025年7月29日付けで開示いたしました「2025年12月期 第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり当初予想を据え置くこととし、今後、重要な変更がある場合には、適切に開示してまいります。

また、当期の期末配当予想については、創立65周年及び上場20周年を記念して株主の皆様へ感謝の意を表し、普通配当3円00銭に記念配当3円00銭を加えて、1株当たりの期末配当金を6円00銭に修正することといたしました。詳細につきましては、2025年7月29日付けで開示いたしました「期末配当予想の修正(創立65周年及び上場20周年記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月20日)	当中間連結会計期間 (2025年 6 月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,389,169	1,872,416
受取手形及び売掛金	560,672	584,847
有価証券	100,000	—
商品及び製品	43,521	51,801
仕掛品	219,616	216,299
原材料及び貯蔵品	126,268	115,898
その他	99,951	70,385
貸倒引当金	△368	△391
流動資産合計	2,538,830	2,911,257
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	275,360	263,146
機械装置及び運搬具（純額）	212,012	188,266
土地	903,724	903,724
その他（純額）	31,862	26,821
有形固定資産合計	1,422,959	1,381,958
無形固定資産		
その他	57,397	51,158
無形固定資産合計	57,397	51,158
投資その他の資産		
その他	528,152	499,393
貸倒引当金	△3,652	△3,472
投資その他の資産合計	524,499	495,921
固定資産合計	2,004,857	1,929,037
資産合計	4,543,687	4,840,294

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月20日)	当中間連結会計期間 (2025年 6 月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	107,486	100,747
短期借入金	371,179	574,192
未払法人税等	20,256	17,098
製品保証引当金	590	396
その他	351,881	523,104
流動負債合計	851,393	1,215,539
固定負債		
長期借入金	321,746	384,038
長期未払金	125,834	101,044
役員退職慰労引当金	164,370	164,370
退職給付に係る負債	539,711	521,732
資産除去債務	9,247	9,248
固定負債合計	1,160,910	1,180,433
負債合計	2,012,303	2,395,973
純資産の部		
株主資本		
資本金	822,195	822,195
資本剰余金	945,495	945,495
利益剰余金	559,362	476,169
自己株式	△116	△116
株主資本合計	2,326,936	2,243,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120,461	125,717
為替換算調整勘定	52,102	47,164
その他の包括利益累計額合計	172,563	172,882
非支配株主持分	31,883	27,694
純資産合計	2,531,383	2,444,321
負債純資産合計	4,543,687	4,840,294

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年12月21日 至 2024年 6 月20日)	当中間連結会計期間 (自 2024年12月21日 至 2025年 6 月20日)
売上高	1,760,225	1,607,160
売上原価	1,264,057	1,146,594
売上総利益	496,168	460,565
販売費及び一般管理費	530,633	518,001
営業損失 (△)	△34,465	△57,435
営業外収益		
受取利息	745	663
受取配当金	702	24
助成金収入	2,515	1,475
その他	4,131	4,300
営業外収益合計	8,094	6,464
営業外費用		
支払利息	5,275	6,839
債権売却損	2,010	1,840
その他	1,439	249
営業外費用合計	8,725	8,929
経常損失 (△)	△35,096	△59,900
特別利益		
投資有価証券売却益	—	44,754
補助金収入	8,366	—
特別利益合計	8,366	44,754
特別損失		
固定資産除却損	40	0
固定資産圧縮損	8,366	—
早期割増退職金	—	44,417
特別損失合計	8,406	44,417
税金等調整前中間純損失 (△)	△35,136	△59,563
法人税等	△9,657	7,928
中間純損失 (△)	△25,478	△67,491
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失 (△)	672	△2,257
親会社株主に帰属する中間純損失 (△)	△26,151	△65,234

(中間連結包括利益計算書)

(単位 : 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年12月21日 至 2024年 6 月20日)	当中間連結会計期間 (自 2024年12月21日 至 2025年 6 月20日)
中間純損失 (△)	△25, 478	△67, 491
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41, 239	5, 256
為替換算調整勘定	6, 226	△6, 868
その他の包括利益合計	47, 466	△1, 612
中間包括利益	21, 987	△69, 104
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	20, 789	△64, 915
非支配株主に係る中間包括利益	1, 198	△4, 188

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年12月21日 至 2024年 6 月20日)	当中間連結会計期間 (自 2024年12月21日 至 2025年 6 月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失 (△)	△35,136	△59,563
減価償却費	67,721	61,792
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	286	△194
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△187	△157
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,260	△17,978
受取利息及び受取配当金	△1,447	△688
支払利息	5,275	6,839
助成金収入	△2,515	△1,475
補助金収入	△8,366	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△44,754
固定資産除却損	40	0
固定資産圧縮損	8,366	—
早期割増退職金	—	44,417
売上債権の増減額 (△は増加)	65,537	△25,508
棚卸資産の増減額 (△は増加)	47,962	5,258
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,860	△6,267
その他	115,154	171,796
小計	267,090	133,515
利息及び配当金の受取額	1,447	765
利息の支払額	△5,848	△7,652
助成金の受取額	2,515	1,475
法人税等の支払額	△8,871	△12,249
法人税等の還付額	1,044	2,110
営業活動によるキャッシュ・フロー	257,376	117,964
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△12,002	△11,221
有形固定資産の取得による支出	△9,462	△11,430
投資有価証券の取得による支出	△1,200	△1,200
投資有価証券の売却による収入	—	77,972
有価証券の償還による収入	—	100,000
無形固定資産の取得による支出	△19,570	△4,078
補助金の受取額	8,366	—
保険積立金の積立による支出	△761	△761
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,630	149,280
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	180,000	180,000
長期借入れによる収入	250,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△150,012	△164,695
長期未払金の返済による支出	△40,685	△37,330
配当金の支払額	△17,836	△17,958
財務活動によるキャッシュ・フロー	221,466	210,016
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,920	△5,235
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	449,133	472,025
現金及び現金同等物の期首残高	485,299	573,865
現金及び現金同等物の中間期末残高	934,432	1,045,891

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益又は税引前中間純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

前中間連結会計期間 (自 2023年12月21日 至 2024年6月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	テストシス テム事業	鏡面研磨機 事業	産機シス テム事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,152,906	349,498	192,471	65,349	1,760,225	—	1,760,225
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	219	219	△219	—
計	1,152,906	349,498	192,471	65,568	1,760,444	△219	1,760,225
セグメント利益 又は損失 (△)	163,712	31,660	16,492	△19,566	192,299	△226,764	△34,465

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△226,764千円には、セグメント間取引消去等10,825千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△237,589千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業損失 (△) と調整を行っております。

当中間連結会計期間 (自 2024年12月21日 至 2025年6月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	テストシス テム事業	鏡面研磨機 事業	産機シス テム事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,159,070	139,208	216,524	92,356	1,607,160	—	1,607,160
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,159,070	139,208	216,524	92,356	1,607,160	—	1,607,160
セグメント利益 又は損失 (△)	213,150	△70,157	32,768	△1,971	173,790	△231,226	△57,435

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△231,226千円には、セグメント間取引消去等10,916千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△242,142千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業損失 (△) と調整を行っております。